



社員と家族は置き去り…、 経営課題を理由にベアゼロを示唆！



本部は本日(3月6日)、国労闘申第7号「2020年4月1日以降の賃金引き上げに関する申し入れ」の第3回交渉を行い、現時点の「会社の考え方」について説明を受けた。

会社は、「今年度は相次ぐ台風の接近・上陸により、大きな減収を余儀なくされ、1月期改定の下方向修正した計画からも△2.8億円となっている。」ことを明らかにし、「お客様の信頼回復と収入挽回に全力を尽くし、関連事業収入の拡大や鉄道事業の黒字化に取り組み、JR貨物グループの持続的成長のため盤石な黒字基盤を作る必要があるとし、「本日時点、昇給は実施するが『ベア』は難しい」と、ベアゼロを示唆する「考え方」を明らかにした。

ベアが実施できない根拠はない！

今年度の落ち着き見込みは、鉄道事業の黒字化は達成できないものの、昨年の倍以上の「経常黒字」は確保する見込みを示している。この間の経営状況からも、経営課題を前面に災害減収を理由にすることは、ベアを実施できない根拠とはならず、到底受け入れられる考え方ではない！

私たちが生きていく(家族も含め)には働く以外に方法がない！現実として経営側に労働力を売って賃金を得る以外に方法がなく、賃金は自らの労働力の復元や新たな労働力の担い手を生み出す再生産費である。つまり労働者と家族が、健康に働ける体を維持(食事、医療、住居、衣料など)し、子供を産み育てるに必要な生計費となっている(生計費原則)。

「会社が大変だから」などの考え方は、会社が喜ぶだけであり、そのような態度をとることは、労働者・労働組合として無責任極まりない姿である。アキラメからは何も生み出すことはできず、大事なことは、「会社の理論」と「労働者の理論」は違うことであり、会社の理論に巻き込まれたら、ずるずると労働者の現状は悪くなる一方となる。

経営課題・災害の影響など、『実施できない』理由探しに躍起になっている貨物会社に対し、労働協約の到達点を最大限に活かしながら、職場からベア獲得に向けた闘いを全力で取り組もう！



JR貨物に対する緊急行動の展開について

- ①「ベアゼロは許さない」要請行動を展開すること
- ②上記の取組みを3月12日まで行うこと

貨物会社に対する緊急行動の展開！

闘争指示57号！

ベア獲得に向け、 職場から、 全力で奮闘しよう！